

第9回 技術フォーラム開催案内

(社)日本技術士会北海道支部 事業委員会

今回は私たちの永遠のテーマ「知名度up」に焦点をあて、社会に向け「技術士のさらなる飛躍」を遂げるための方策を探ります。パネラーに技術士資格を持つ発注者の方々や、技術士に接する機会の多いジャーナリスト、市民代表としての弁護士さんをお迎えし、端から見た「技術士の知名度upは必要か」と「そのために必要なことは何か」を手がかりに、これからの技術士のあり方を探りたいと思います。ご自身が技術士でありながら何か釈然としない引っ掛かりをお持ちの皆様、是非、お集まりください。大いに議論しましょう。

なお、会場設営やフォーラムの進行など例年までとは様変わりしていますので、そちらもお楽しみに！！

1 開催日と場所

日時:平成23年2月23日(水) 13:30~17:00

場所:札幌ガーデンパレスホテル(2F丹頂の間) 札幌市中央区北1条西6丁目 TEL011-261-5311

2 一般課題

講演1) ウランバートルの都市再編

講演者) 紺野 寛 :日本データサービス建物管理 顧問(技術士:建設部門)

モンゴルの首都ウランバートルでは2度の大雪害で廃業遊牧民が流入し、人口が倍加して都市環境が悪化した。環境改善には都市部の再編が必要で、そのための「都市再開発法」作成の技術指導や、事業展開に向けた技術援助に、一昨年8月からJICAの一員として携わっている。基本法作成後の現在、政府や市職員へのヒアリングやラーニングを行っており、その顛末を報告する。

3 特別課題

「徹底討論！！『THE 技術士』～さらなる飛躍のために」をテーマに、技術士の「知名度up」を縦糸に、自己啓発や社会貢献などのキーワードを横糸として、お招きしたパネラーの皆様とともに技術士個人や技術士会のあるべき姿を意見交換したいと思います。

パネラー1) 佐藤 昌志 :北海道開発局調整官(工学博士, 技術士:建設部門, 食品安全衛生責任者)

「技術士」だからどうこうではなく、「あの人がいたら任せられる」その職人芸こそが技術屋の勝負。それが「技術士」ならなおさらで、結果として業界を通じ市民にも名が売れる。(談話から)

パネラー2) 小松 正明 :釧路市副市長(技術士:建設部門)

「技術士」は質の高い提言をして社会貢献できる人材の証であるはず。そのためにも自分の意見を発信し続けることが大切だと思います。皆さんとの意見交換が楽しみです。

パネラー3) 荒木 正芳 :株式会社北海道建設新聞社 第一報道部長

「技術士」が組織に縛られず、自らの言葉で情報発信していくことが重要です。市民生活に直接かかわる仕事をしながら、技術士の存在感が薄いのは、なぜなのか？皆さんと議論していきましょう。

パネラー4) 作間 豪昭 :弁護士(渡辺英一法律事務所)

「プロフェッション」が果たすべき役割とはなにか、「技術士」と同じく「士」が入る職業に従事するものとして、また、市民の視点から、議論に参加できればと思います。

4 参加申込

参加希望者は、氏名、部門、所属、技術士会会員・非会員、意見交換会参加・不参加を明記し、平成23年2月18日(金)までに、下記宛 FAX もしくは Eメールでお申し込みください。

参加料(当日徴収)は、技術士会会員 1,000 円、非会員等(会友含む)2,000 円です。またフォーラム終了後に意見交換会(会費 3,000 円)を開催しますので、多数の参加をお願いいたします。

【申込先】 日本技術士会北海道支部 事務局(出村)

E-mail:hkd-eng@ipej-hokkaido.jp

FAX:011-801-1618